

## 序 基本構想の策定について

### 1. 基本構想・基本計画策定の背景と目的

1日約24,000人が乗降する小田急小田原線新松田駅（以下、「新松田駅」という。）ならびに1日約6,600人が乗降するJR御殿場線松田駅（以下、「松田駅」という。）が交わる新松田駅周辺地域は、神奈川県県西地域における交通結節点として機能しており、また、足柄上地区の中心拠点としての役割や世界遺産である富士山へ向かう、神奈川県の西の玄関口にもなっているため、多くの地域から来訪者が訪れる場所です。

新松田駅周辺は、交通結節機能が脆弱なため、車両と歩行者が錯綜するなど交通混雑が生じており、県西地域の交通結節点にふさわしい交通広場整備をはじめとする駅前環境の整備改善が喫緊の課題となっています。

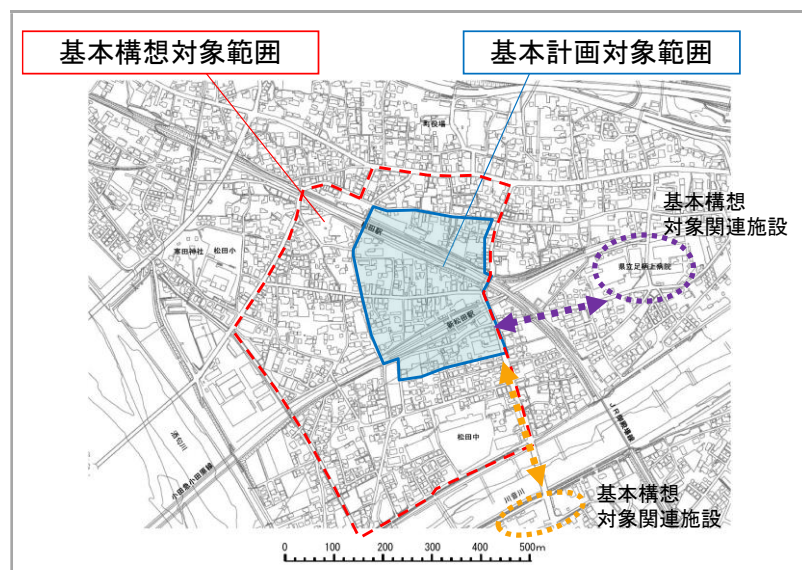
また、松田町では、平成7年をピークに少子高齢化や若年層の流出などを要因とした人口の減少が生じており、町の発展に寄与する若年層の定住促進に資する魅力あるまちづくりのために、中心市街地の活性化に向けた賑わいの創出に向けて、町民サービスや都市空間の質の維持、向上を図ることが課題となっています。

新松田駅周辺整備基本構想・基本計画は、新松田駅及び松田駅周辺地域において、足柄上地区の玄関口としてふさわしい交通結節機能及び商業交流機能の充実を図るため、駅利用者の安全・安心を確保するとともに、本町の定住促進、地域活性化に資する交流人口の増加に向けて駅前広場及びアクセス道路（\*）、その周辺街区の再編等に関わる方向を整理するとともに、整備手法等実現方策を整理し、整備の早期実現を目指すものです。

### 2. 対象区域

- ・本基本構想・基本計画の対象区域は、以下に示す基本構想対象範囲（約29.8ha。以下、「新松田駅周辺地域」という。）と基本計画対象範囲（約8.2ha。以下、「新松田駅周辺地区」という。）とします。

#### <業務検討対象区域>



### 3. 基本構想・基本計画の位置づけ

- ・本基本構想・基本計画は、県及び町の上位計画を踏まえ、地域のまちづくりの方向を示すとともに、駅周辺地区の整備についての方針を整理するものであり、本基本構想・基本計画を踏まえ、整備実現に取り組んでいくこととなります。

#### <基本構想の位置づけ>

